

「対応の方針」の概要

「対応の方針」をとりまとめました

これまでオープンハウスや課題検討会等で頂いた意見などを踏まえ、今後検討していく課題とその解決のための対応の方針などをとりまとめ、沿線7区市長より一定のご理解を頂いたこともあり、国土交通省、東京都において「対応の方針」をとりまとめました。

- これまでに頂いたご意見
- PI外環沿線協議会
 - 課題検討会
 - オープンハウス
 - PI外環沿線会議
 - 区市長からの意見
 - ホームページ など

対応の方針

抜粋 1. 交通 (1) 地区交通

① 生活道路の交通量が増え、住宅街での渋滞や住環境の悪化への懸念

◎これまでに頂いた意見

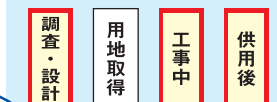
- ・地域の道路網が未整備の状況では、生活道路の交通量が増大し、静かな住宅街の住環境の悪化が懸念される。
- ・都市計画道路などの幹線道路による段階構成を整備して、成城地域の閑静な住宅街の環境を維持してほしい。

② これまでに頂いた意見

(国)

東名東京インターチェンジ周辺の生活道路においては、通過交通が進入する可能性があり、ランプや標識の設置などの対策については、事業進捗に合わせ、地域のみなさまの意見を聴きながら世田谷区等関係機関と協力のもと検討を進め、適切な役割分担のもと進めていきます。

外環事業プロセスにおける検討時期



③ 対応の方針

① 検討すべき課題

これまで、オープンハウスや検討会などで頂いたご意見を、交通、環境、まちづくりなどの観点から地域のみなさまの懸念や期待としてまとめたもの

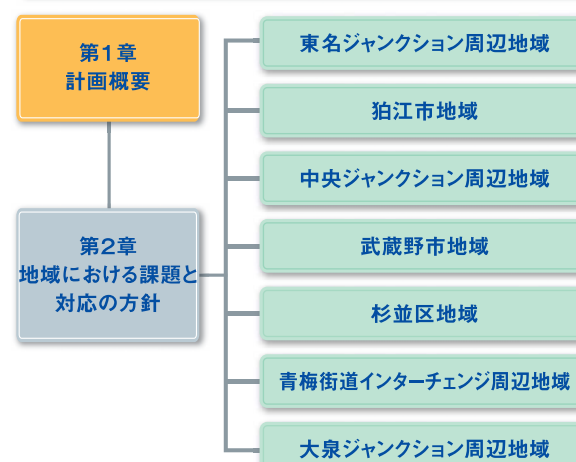
② これまでに頂いた意見

これまで、オープンハウスや検討会などで地域のみなさまに頂いたご意見

③ 対応の方針

①、②に対し、今後の進め方を含め国と都の考え方を示したものの。また、事業の基本的なプロセスにおける、「調査・設計」・「用地取得」・「工事中」・「供用後」のどの段階で対応するかを明示している

「対応の方針」の構成



各地域、項目ごとにみなさまの意見と対応をとりまとめています。

- | | | |
|---|--|---|
| 1. 交通
(1) 地区交通
(2) 幹線交通
(3) 広域交通 | 3. まちづくり
(1) まちづくり全般
(2) 地域分断
(3) 土地利用 | 5. 工事中
(1) 工事中の交通への影響
(2) 工事中の環境への影響
(3) 工事中の安全性 |
| 2. 環境
(1) 大気質
(2) 騒音・振動・低周波音
(3) 地下水
(4) 動物、植物、生態系
(5) 緑の量
(6) 景観
(7) 日照障害・電波障害・風など
(8) 史跡・文化財
(9) 環境一般 | 4. 安全・安心
(1) 交通安全・治安
(2) 災害・事故時の対応 | 6. 用地補償
7. 計画検討の進め方
(1) 計画検討全般
(2) 意見反映
(3) 情報の提供 |
- ※これらの項目は地域により異なります。

「対応の方針」に基づき対応している事例

道路計画への反映(中央ジャンクションの例)

【検討の概要】

- 地域のみなさまの意見を基に、主に掘割構造であったランプ部について、可能な範囲で蓋かけ構造を採用することで、上部利用できるスペースを多くする検討を行いました。
- ランプ部を蓋かけ構造とすることにより、大気質、騒音などの環境への影響が低減され、緑化の範囲が増加することが期待されます。

検討前 (イメージ図)

検討後 蓋かけ構造を検討 (イメージ図)

環境のモニタリング調査

工事中の大気質(NO2、SPM、粉じん等)、騒音、振動、地下水位のモニタリング調査を実施しています。

■大気質、騒音、振動、地下水位の調査

- 大気質の調査
 - ・建設機械の稼働や工事用車両の運行に伴う二酸化窒素(NO2)及び浮遊粒子状物質(SPM)を季節毎(年4回)、1週間、現地測定。
 - ・また、粉じん等を季節毎(年4回)、1箇月間、現地測定。
- 騒音、振動の調査
 - ・建設機械の稼働や工事用車両の運行に伴う騒音、振動を月1回、1日間、現地測定。
- 地下水位の観測
 - ・外環沿線の地下水位観測井において、工事中の地下水位を毎日観測。



大気質(NO2、SPM)測定状況



騒音、振動測定状況



地下水位の観測状況